

北の丸公園周辺地域基本構想（素案）に対するご意見と区の考え方

No	意見者（類型）	分類	意見内容	区の考え方
1	区内在住者	実現方策	<p>北の丸公園区域の"まちづくり"には養蜂所を設定し江戸時代の技術を再生しながらハチミツの薬用・薬餌用として採蜜を実現するアイデア</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 現在ミツバチが世界的に減少してしまっている現実を感知することからどんな結果が生じるかを思いながら。 ⇒何をしなければならないかを考慮すること。</li> <li>* 西洋ミツバチと日本ミツバチの養蜂の違いを観察しながら採蜜を考慮すること。</li> <li>* 構造には天井の高い網を巡らせミツバチを外部に逃がさず、水域も建設すること。</li> <li>* 養蜂所周辺には種々の花々を植えながら適切な植樹も行なうこと。</li> <li>* 小規模な農園をサイドに設定し家庭野菜の生産工程をミツバチから学ぶこと。</li> <li>* ミツバチ プラザ的な自然エリアでの環境問題を学びながら現実に適合させていくこと。</li> <li>* 本来なら、都会での養蜂はビルの屋上で行なう定義があるようですが、千代田区はどうでしょうか。</li> </ul>	<p>今回、基本構想（素案）の対象は、北の丸公園周辺を取り囲む道路を中心とした地域、特に、区道等の公共空間に関わるものとなっております。そのため、提案のあった養蜂所の設置等は難しいものと認識しています。</p> <p>一方で、構想（素案）には、「賑わいのある生活空間や社会活動空間として地域の人たちが参加するまちづくりを進めていきます」とあります。整備後の当該公共空間の利活用において、地域の合意と多様な主体の参画・協働にもとづき、地域の良好な環境の形成や魅力の向上に資する活動として、ご提案のような取り組みを検討する可能性はあるものと認識しています。</p> <p>また、頂いたご意見と関連する事項として、区では環境教育等推進の視点から、区内で養蜂事業を行う団体、大学等に対して支援する制度等について、現在検討を進めております。</p>

